

## 「十戒」の学び～その9～

2023.3.10 (Fri.)

### 十戒 (出エジプト 20 : 2～17)

わたしは、あなたをエジプトの地、奴隷の家から導き出したあなたの神、主である。

1. あなたは、わたし以外に、ほかの神があってはならない。
2. あなたは自分のために偶像を造ってはならない。
3. あなたは、あなたの神、主の名をみだりに口にしてはならない。
4. 安息日を覚えて、これを聖なるものとせよ。
5. あなたの父と母を敬え。
6. 殺してはならない。
7. 姦淫してはならない。
8. 盗んではならない。
9. あなたの隣人について、偽りの証言をしてはならない。
10. あなたの隣人の家を欲しがってはならない。

### 十戒のポイント

- ・十戒の前文(「わたしは」)。民をエジプトから解放された愛(過越しも含む)。イエス・キリストの十字架の愛。この愛に答える。神を愛するための命令(Ⅰヨハネ5:3)
- ・一方で罪を知らせる。キリストの救いを求めさせる。ガラテヤ3:23～25  
→キリストの救いの大きさを知る。十戒と「キリエ・エレイソン(主よ、あわれみ給え)」(交唱)

### 第一戒

エジプトから救われた主が言われる。「あなたには、わたし以外に、ほかの神があるはずがない」。

### 第二戒

「あなたは自分のために偶像を造ってはならない」→偶像を造るとは、不安定要素を取り除くことまことの安定とは? マタイ4:1～11:神を信頼し、みことばに生きる。

### 第三戒

「あなたは、あなたの神、主の名をみだりに口にしてはならない」

→礼拝の中で、心を込めて主の名を賛美し、呼び求め、主の名によって人々を祝福しよう!

### 第四戒

「主が七日目に休んだ」(20:11)とは、天地創造の完成を告げるため(創世記2:2)。一週間のわざを完成されたのが神であることを告げる(記念する)ために休む。わざをやめる。

申命記の「十戒」(申命記5:6～21):第七日目に記念されるのは、救いの完成。神がエジプトからの救いを完成された。→イエスの復活により安息日は日曜日になった。

### 第五戒

親と子:縦の関係→神と人との関係を体験的に知る道

子どもたちへの命令と同時に親たちにも語れている。尊敬されやすい親たれ!

信仰継承は、関係継承。主にある親子関係を継承する

### 第六戒「殺してはならない」。

「殺してはならない」のゴール:マタイ5:23～24→「仲直りをしなさい」→相手も自分も生かすこと(交わりの回復)

キリストを殺したという罪→キリストの十字架の贖いによって赦される。

### 第七戒「姦淫してはならない。」

「堅く節操を守る」とは何か? 伴侶を愛する延長線上にある(日常において)

第八戒「盗んではならない」:所有の問題。神との交わりの中で所有する。

むしろ…、自分の手で、ほねおって(無駄骨であっても)、分け与える(エペソ4:28)

第九戒 「あなたの隣人について、偽りの証言をしてはならない」

原文直訳「あなたは隣人の中で、偽りの証言を答えてはならない」

### 第九戒の背景：訴訟（裁判）

- ・出エジプト 23:2「訴訟において、多数に従って道からそれ、ねじ曲げた証言をしてはならない。」
- ・レビ 19:15 「不正な裁判をしてはならない。弱い者をひいきしたり強い者にへつらったりしてはならない。あなたの同胞を正しくさばかなければならない。」

### なぜ、偽りの証言をするのか？

#### ①ことを自分の都合の良い方へ持っていくため

例.ナボテに対するアハブ：I列王 21：1～10

→隣人について偽証をしなければならないようなことならば、神のみこころではない。しかしそれを押し通そうとすると偽証となる。

#### ②嫌いな相手を攻撃するため：申命記 19：16「悪意のある証人が立って、ある人に不正な証言をする場合には、」。他に箴言 24：28～29、25：18

#### ①と②が見事にミックスされたのが、イエスに対する最高法院の裁判：マタイ 26：59～61

### 第九戒の射程①～偽証を避けるために～

- ・出エジプト 23：1。偽りのうわさを口にしない。レビ 19：16。人を中傷して回らない。
- ・申命記 19：16～20。偽りの証人を除き去る→うわさや中傷を避けるよう、呼びかける。
- ・箴言 21：28。よく聞くこと。神のことばを聞き、また悪意を持っている相手のことばをよく聞くと、「正しく語る」ことができる。

### 第九戒の射程②～語るべきこと～

エペソ 4：29。「人の成長に役立つことば」原文「建て上げる(build)良いことば」。交わりを建て上げる→感謝やほめることば。マタイ 25：21「よくやった。良い忠実なしもべだ。」

「必要な時に」：交わりを建て上げるために「必要な時」とは？ いつでもです。